



「公約」を実現するため 走り続けた 4年間

— 向山好一の 活動実績 ① —



向山好一は選挙時に皆様にお約束した取り組み事項を大切にしています。言うだけでなく実績を残さないと皆様の負託に応えたとはいえないからです。

今の時代に求められていること、将来につながるもの、改めなければいけない事業

この任期4年間、夢物語でなく実現できる「公約」をかたちにしてきました。

▶ 納税者が納得できる税金の使い方

公用車センチュリーは県民目線からかけ離れている

実績 ▶ センチュリーを変更し1,400万円の経費削減につなげる
「県財政が厳しく県民がコロナで苦しんでいるのに

知事・議長公用車がなぜ最高級車なのか!

この令和2年10月議会での向山好一の追及が新聞・テレビで取り上げられ、大きな社会問題となり是正が実現しました。お金の大きさではなく行政は納税者が理解できる税金の使い方をしなくてははいけないのです。



知事の公用車は全国断トツ1位のセンチュリーだった



公用車はアルファードに

公用車リースに2000万円

県議長が公務で利用する公用車を巡り、リース代が7年で計約2000万円に上ることがわかった。昨年、兵庫県下の即位に伴うパレードでも使われたヨタ自動車の最上級セダン「センチュリー」に変更したためだ。

7日の県議会特別委員会、ひよこ県民連合の向山好一議員が阪神大震災関連の負債を抱える厳しい財政状況で、センチュリーは「昨年までは、昨夏までは、昨年8月、7年のリース料は約1400万円、トヨタ自動車の「センチュリー」が使われている議長公用車（県庁）※開業の一部を削減しています。

県議長が公務で利用する公用車を巡り、リース代が7年で計約2000万円に上ることがわかった。昨年、兵庫県下の即位に伴うパレードでも使われたヨタ自動車の最上級セダン「センチュリー」に変更したためだ。

7日の県議会特別委員会、ひよこ県民連合の向山好一議員が阪神大震災関連の負債を抱える厳しい財政状況で、センチュリーは「昨年までは、昨夏までは、昨年8月、7年のリース料は約1400万円、トヨタ自動車の「センチュリー」が使われている議長公用車（県庁）※開業の一部を削減しています。

令和2年10月8日 読売新聞朝刊

▶ 北区交通問題の前進

運賃が全国一高いといわれた北神急行の市営化

実績 ▶ 市営地下鉄・山手線に組み込むことによって運賃が半額に!

北区はどこに行くにも交通費が高い!

この象徴が「全国一高い」といわれた北神急行の運賃でした。向山好一は再選直後からこの問題に取り組み、兵庫県の20億円支援を勝ち取り令和2月に実現。このことによって谷上⇄三宮間の運賃が540円から280円と約半額にまで低減できました。



市営化され乗客は3割増加している

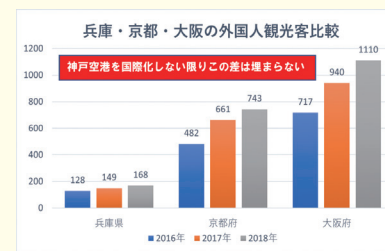
期間	増減率
6月	25.6%増
7月	32.2%増
8月	31.1%増
9月	35.1%増
4ヶ月の平均	31.1%増

※市営化直後の神戸市交通局調査資料
 ※数値はコロナの影響を除外した推計値

▶ 神戸を世界に開かれた都市にするために

神戸空港を万博開催時の2025年までに国際化すべき

実績 ▶ 2025年チャーター便、2030年本格的定期便での国際化が実現!



本当の意味での「国際都市・神戸」になり将来の兵庫県の発展には神戸空港の国際化は必要不可欠です。向山好一はこの任期中幾度となく「万博開催という千載一遇のチャンスを逃してはいけません」と訴えてきました。この国際化を神戸の経済成長につなげていかなければいけません。